

芦田川水害タイムライン検討会（第2回） ニュースレター

令和元年6月28日（金）福山庁舎第3庁舎（9：30～12：00）

- 次第一 —
1. 開会
 2. 芦田川水害タイムライン令和元年出水期
試行版(案)について
 3. タイムラインの運用方法
 4. グループワーキング
 5. 閉式

◆ 参加機関（県、2市、21機関）

●アドバイザー

福山大学名誉教授 宮地茂記念館館長	尾島 勝
福山大学 学長補佐（IR担当）・人間文化学部長 人間文化学部心理学科 教授	平 伸二
福山大学工学部スマートシステム学科 教授 学科長、学長補佐（研究担当）、安全安心防災教育センター長	仲嶋 一
福山市立大学 大学院 都市経営学研究所 都市経営学部 副学部長・教授 地域連携フェロー キャリアデザインセンター長	渡邊 一成
福山平成大学副学長 経営学部長 教授	川久保 和雄（欠席）
福山平成大学 福祉健康学部 福祉学科 准教授	岡部 真智子

●参加機関

防災情報	社会基盤（土木）
広島県 土木建築局道路河川管理課	広島県東部建設事務所 管理課
広島地方気象台 水害対策気象官	広島県東部建設事務所 事業調整・土砂法指定推進班
国土交通省 福山河川国道事務所(河川)	福山市 北部建設産業課
国土交通省 八田原ダム管理所	福山市 神辺建設産業課（欠席）
避難対応（福山市）	福山市 建設政策課
福山市 危機管理防災課	福山市 土木管理課
福山市 税制課	福山市 農林整備課
福山市 福祉総務課（欠席）	福山市 下水道施設課
福山市 経済総務課（欠席）	福山市 配水管維持課（欠席）
福山市 まちづくり総務課	府中市 建設産業部上水道課（欠席）
福山市 北部地域振興課	府中市 建設部土木課
福山市 東部地域振興課	府中市 建設産業部監理課（欠席）
福山市 神辺地域振興課	社会基盤（交通・運輸）
福山市 教育総務課	西日本旅客鉄道（株）岡山支社 安全推進室
避難対応（府中市）	西日本高速道路（株）福山高速道路事務所 （株）中国バス（欠席）
府中市 総務部総務課（欠席）	福山通運（欠席）
府中市 総務部政策企画課	国土交通省 福山河川国道事務所 道路管理第二課
府中市 危機管理監危機管理室	国土交通省 福山河川国道事務所 三原国道維持管理出張所（欠席）
府中市 健康福祉部地域福祉課（欠席）	広報・報道
大規模避難・救助	福山市 企画政策課（欠席）
広島県 危機管理監危機管理課	福山市 情報発信課
広島県警察本部 交通部交通規制課（欠席）	日本放送協会（欠席）
広島県警察本部 警備部危機管理課	（株）中国放送（欠席）
福山北警察署 警備課	広島テレビ放送（株）（欠席）
福山東警察署 警備課	（株）テレビ新広島（欠席）
福山西警察署 警備課	（株）エフエムふくやま 企画・営業グループ
府中警察署 警備課	（株）ケーブル・ジョイ
福山地区消防組合消防局 警防部警防課	
福山地区消防組合消防局 救急救助課	
陸上自衛隊第13旅団司令部 第3部	
社会基盤（ライフライン）	
福山市 水づくり課	
中国電力（株）福山営業所 企画総括課	
中国電力（株）尾道電力所 変電課	
福山ガス(株) 供給部 供給管理グループ	
西日本電信電話（株）広島支店	

◆ 第2回検討会の内容

① 芦田川水害タイムライン令和元年出水期試行版(案)について

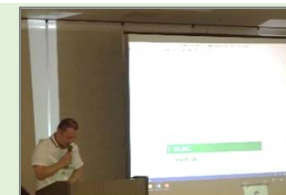
- ✓ 水害タイムライン作成の目的とメリット
- ✓ 避難勧告着目型タイムラインと
多機関連携型タイムラインの違い
- ✓ 芦田川水害タイムライン作成のポイント
- ✓ タイムライン出水期試行版の位置づけ
- ✓ 芦田川水害タイムラインの作成経緯と構成
- ✓ 芦田川水害タイムラインにおけるレベル設定の考え方について



▲福山河川国道事務所による開会の挨拶

② タイムライン令和元年試行版(案)運用方法

- ✓ タイムライン立ち上げ・レベル移行・解除
- ✓ 改善に向けた記録
- ✓ メーリングリストを利用した情報発信
- ✓ 振り返りの実施



▲タイムライン運用方法の説明

③ グループワーク（読み合わせ）

作成中のタイムライン試行版の内容確認・意見交換

- ✓ 防災行動項目の意味や解釈、役割分担の確認
- ✓ 令和元年度版に向けて留意点・改善すべき点の確認
- ✓ 発表 ①出水期試行版の段階で修正が必要な事項（主な点）
②水害タイムライン令和元年度版に向けて改善が必要な事項



▲タイムラインレベルの読み上げの様子



▲解釈や役割分担の確認の様子



▲発表と意見交換の様子

◆ グループワーキングの内容

■ 芦田川水害タイムライン令和元年度出水期試行版(案)の読み合わせ

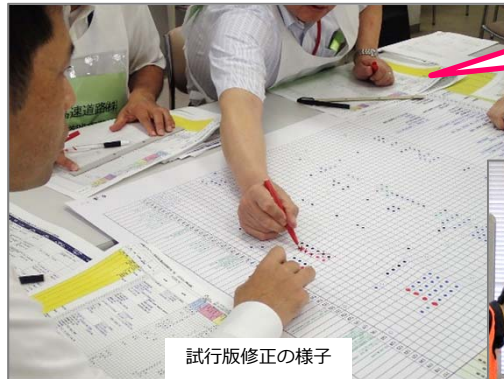
- ・ タイムラインレベルの状況説明
- ・ タイムラインレベルの行動項目（第二階層まで）の読み上げ
- ・ 一部の行動項目については他機関との役割も確認

■ 変更箇所や意見は変更記録シートに記入

- ・ グループで出た意見を整理

■ グループワーク内容を発表

- ・ 出水期試行版の段階で修正が必要な事項（主な点）
- ・ 水害タイムライン令和元年度版に向けて改善が必要な事項



試行版修正の様子

タイムライン試行版としての内容を確認し、活用方法や運用方法について議論しました。



グループ発表の様子

グループで議論した内容について、試行版を運用する関係機関に周知しておくべき修正内容や意見をグループ毎に発表しました。

◆ グループワーキングの成果



▼タイムライン試行版(大判シート)を用いて変更箇所を抽出

試行版をよりよいものにするために、実際に運用する場合を考慮しながら、変更箇所の抽出や項目を再検討しました。

▼グループ発表の主な内容

①出水期試行版の段階で修正が必要な事項（抜粋）	出水期試行版への反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 項目が同じものだったり、かぶりが多くあるので見直しが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○検討会で指摘があった箇所、事務局チェックで確認した箇所を統合修正済み（例） 災害協定の登録業者に災害の情報共有 災害協定の登録業者に応急対応時の依頼 ⇒災害協定の登録業者へ準備依頼
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動の「主体」と「支援・協働」でお互いの行動を認識できていない 	<ul style="list-style-type: none"> △第1回検討会で他機関との調整事項について一部確認済み 今後試行運用を通してその他の調整事項を確認
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出水対応は課ではなく、班で対応するため班編成でのタイムラインとしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ○事前確認で修正のあった福山市のみ修正済み

◆ 今後のスケジュール

- 今回の結果を反映した「ダイジェスト版」「全体版」「運用方法」を提示し、タイムライン試行版の試行運用を開始（令和元年7月頃～9月頃）
- 試行運用と振り返りを踏まえてタイムラインを改善
- 芦田川水害タイムライン（令和元年度版）完成式（令和元年8月26日）